

2019年度 第3四半期決算

2020年 2月 7日

住友商事株式会社

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であり、これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

100th
ANNIVERSARY
SINCE 1919

1. 2019年度 第3四半期実績 (当期利益)

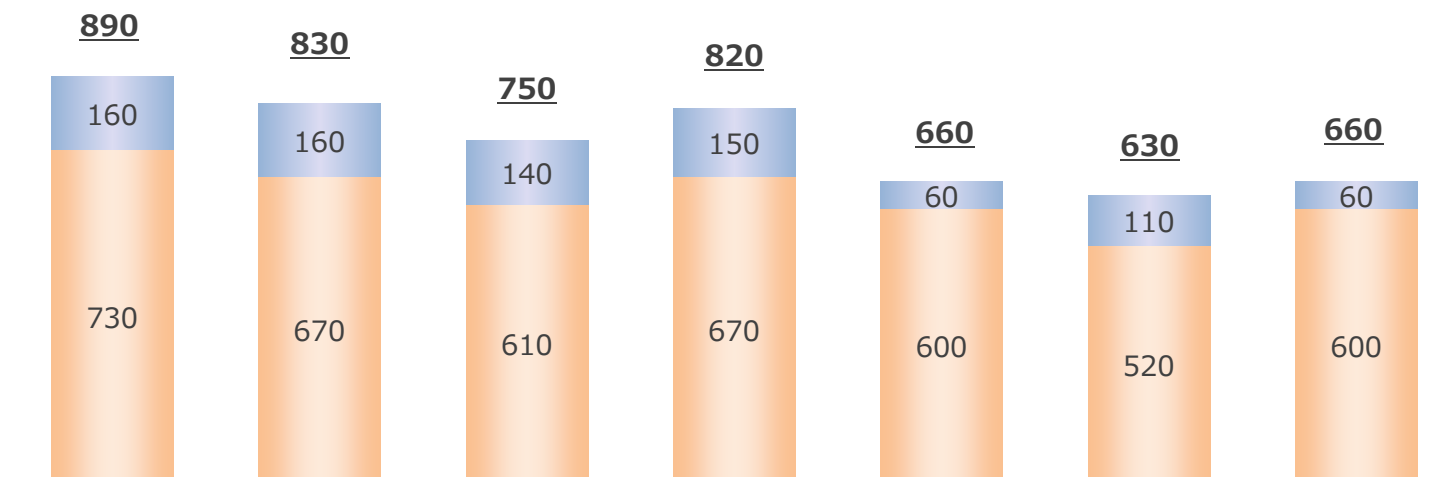
(単位:億円)	2018年度 第3四半期実績 ①	2019年度 第3四半期実績 ②	前年同期比 ②-①	2019年度 通期見通し (2019年11月公表) ③	進捗率 ②/③			
	第1四半期 単独	第2四半期 単独	第3四半期 単独					
当期利益	2,418	797	727	589	2,113	△304	3,000	70%
一過性損益	約 △60	約 +140	約 +90	約 △70	約 +160	約 +220	約 +230	
一過性を除く業績	約 2,480	約 660	約 630	約 660	約 1,950	約 △530	約 2,770	70%
内、資源ビジネス *1	460	60	110	60	230	△230	340	68%
内、非資源ビジネス *2	2,020	600	520	600	1,720	△300	2,430	71%

<一過性を除く業績 四半期推移>

(単位:億円)

2018年度				2019年度		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期

■ 資源ビジネス ■ 非資源ビジネス



*1 一過性を除く業績の内、資源ビジネスは「資源第一本部」「資源第二本部」「エネルギー本部」の合計です。

*2 非資源ビジネスは全社計から資源ビジネスを差し引いて算出しております。

< 2019年度 第3四半期実績(前年同期比) >

【一過性を除く業績概要】

- 資源ビジネス
 - ✓ ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 減益
 - ✓ 豪州石炭事業 減益
- 非資源ビジネス
 - ✓ 北米鋼管事業 及び 自動車関連事業 減益
 - ✓ 電力EPC案件 建設進捗 及び 不動産事業 堅調

< 2019年度 通期見通し >

- 当期利益 通期見通し
全体として概ね堅調に推移していることから通期見通しは、3,000億円から変更なし
- 年間配当予想
1株当たり80円(配当性向 33.3%)から変更なし(中間 45円/株(実績)、期末 35円/株(予定))
 - ・普通配当 70円/株 (配当性向 29.1%)
 - ・上記に加え、創立100周年記念配当10円/株を中間配当に併せて実施

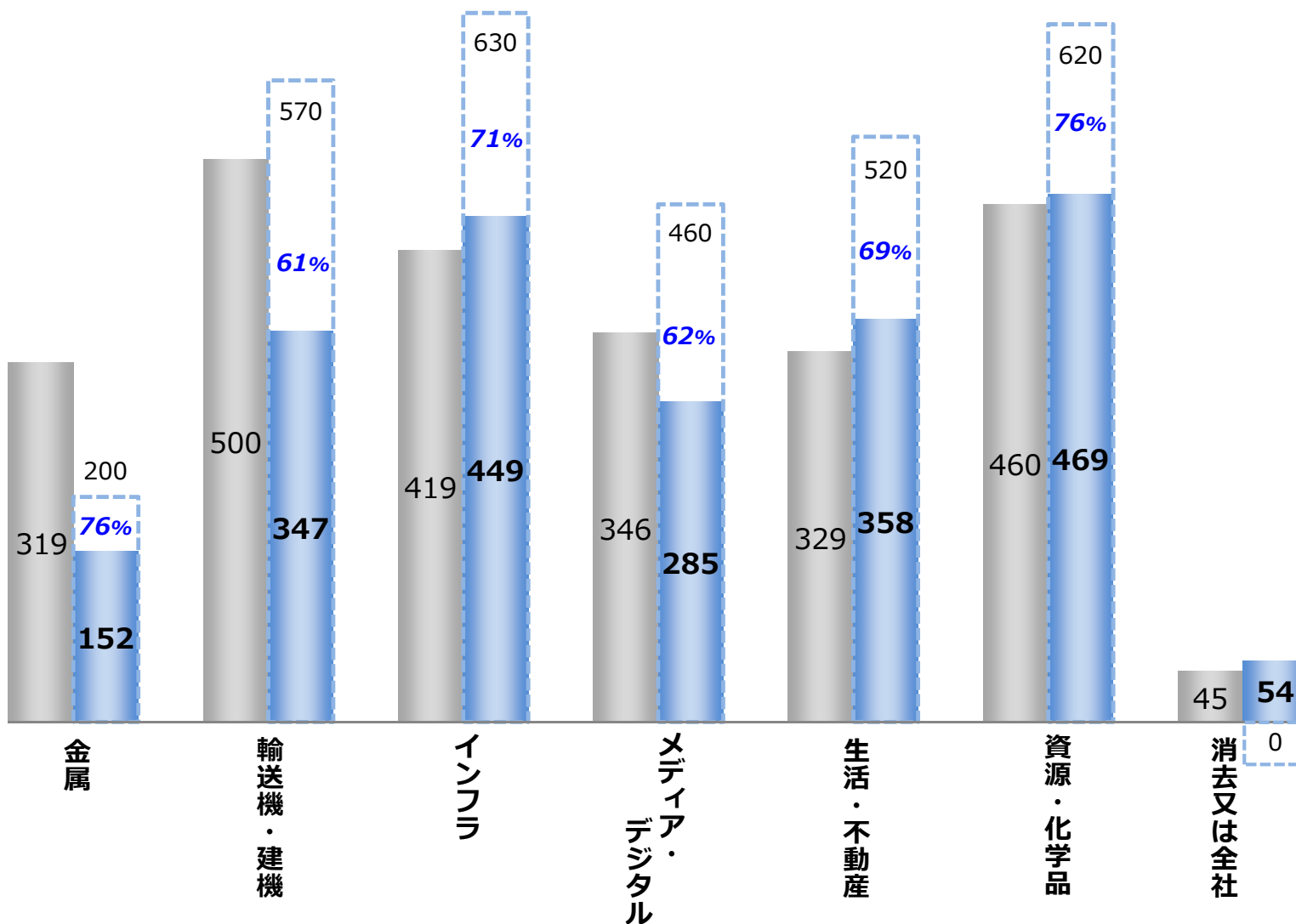
(参考) 主要指標	2018年度 第3四半期 実績	2019年度		
		第3四半期 実績	通期見通し (2019年11月公表)	
為替 (YEN/US\$)	111.14	108.65	110.00	
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.02%	△0.02%	△0.05%
	LIBOR 6M(US\$)	2.61%	2.18%	2.00%

* 為替の影響 (通期見通し) …1円/US\$の変動で±10億円

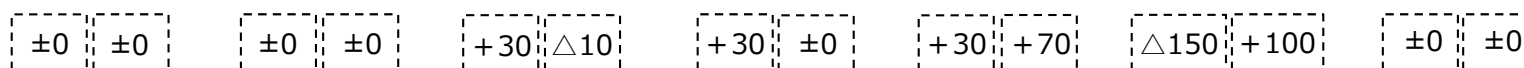
2. 2019年度 第3四半期実績 (セグメント別 当期利益)

■ 2018年度 第3四半期実績 ■ 2019年度 第3四半期実績
 □ 2019年度 通期見通し (2019年11月) (青字は通期見通しに対する進捗率)

(単位：億円)



各セグメントに含まれる一過性損益の影響 (左：前年同期、右：当期)



〈 2019年度 第3四半期実績の概要 〉 【セグメント別業績概要 (一過性を除く業績)】

■ 金属

- ✓ 北米鋼管事業 減益
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 減益

■ 輸送機・建機

- ✓ リース事業 堅調
- ✓ 自動車製造事業 減益

■ インフラ

- ✓ 大型EPC案件 建設進捗
- ✓ 発電事業 堅調

■ メディア・デジタル

- ✓ 国内主要事業会社 堅調
- ✓ 前年同期
ミャンマー通信事業の決算期変更あり

■ 生活・不動産

- ✓ 国内主要事業会社 堅調
- ✓ 不動産事業 堅調

■ 資源・化学品

- ✓ ポリビア銀・亜鉛・鉛事業 減益
- ✓ 豪州石炭事業 減益

3. 2019年度 第3四半期実績（キャッシュ・フロー／財政状態）

● キャッシュ・フロー実績

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期	2019年度 第3四半期
営業活動	+1,172	+1,873
投資活動	△292	△1,774
フリーキャッシュ・フロー	+880	+99
▽		
<キャッシュ・イン>		
基礎収益キャッシュ・フロー *1 (内、持分法投資先からの配当)	+2,297 (+829)	+2,056 (+910)
減価償却費 及び 無形資産償却費	+839	+1,197
資産入替による回収	約 +1,700	約 +800
その他の資金移動	約 △1,900	約 △1,100
<キャッシュ・アウト>		
投融資実行	約 △2,000	約 △2,900

● 財政状態

2018年度末		2019年度第3四半期末	
総資産 7.9兆円		総資産 8.4兆円	
流動資産 3.5兆円	その他の負債 2.0兆円	流動資産 3.5兆円	その他の負債 2.4兆円
非流動資産 4.4兆円	有利子負債*2 3.1兆円 (現預金Net後 2.4兆円)	非流動資産 4.8兆円	有利子負債*2 3.2兆円 (現預金Net後 2.6兆円)
	株主資本*3 2.8兆円		株主資本*3 2.8兆円
D/E Ratio(Net) : 0.9		D/E Ratio(Net) : 0.9	

〈 2019年度 第3四半期実績の概要 〉

- **基礎収益キャッシュ・フロー**
 - ✓ コアビジネスが着実にキャッシュを創出
- **資産入替による回収**
 - ✓ 英国洋上風力発電事業 売却
 - ✓ 航空機エンジンリース事業 共同事業化 等
- **その他の資金移動**
 - ✓ 運転資金の増加 等
- **投融資実行**
 - ✓ 北欧駐車場事業 買収
 - ✓ 米国オフィスビル 取得 等

〈 2019年度 第3四半期実績の概要 〉

- **総資産 +4,622億円**
(79,165億円→83,787億円)
- ✓ IFRS第16号「リース」適用による影響
(約+3,900億円)
- **株主資本 +179億円**
(27,715億円→27,894億円)
- ✓ 当期利益の積み上げ
- ✓ 配当金の支払
- ✓ 円高の影響による減少 等

	2018年度末	2019年度 第3四半期末
為替 (YEN/US\$)	110.99	109.56

*1 基礎収益キャッシュ・フロー = 基礎収益 - 持分法による投資損益 + 持分法投資先からの配当
 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費 (除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

*2 有利子負債…社債及び借入金(流動・非流動)の合計 (リース負債は含まず)

*3 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計」

Appendix

4.要約四半期連結包括利益計算書の概要	(P.6)
5.要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要	(P.7)
6.要約四半期連結財政状態計算書の概要	(P.8)
7.セグメント別 業績概要	(P.9-18)
8.セグメント情報（補足：生活・不動産、資源・化学品事業部門）	(P.19-20)
9.セグメント別 当期利益/一過性損益 四半期推移	(P.21-22)
10.業績推移	(P.23-24)

4. 要約四半期連結包括利益計算書の概要

(単位：億円)	2018年度 第3四半期実績 (2018/4-12)	2019年度 第3四半期実績 (2019/4-12)	前年同期比		2019年度第3四半期実績の概要
			金額	増減率	
収益	38,330	39,347	+1,017	3%	«売上総利益» ・資源価格下落の影響 ・北米鋼管事業 減益 ・SCSK 堅調 等 «持分法による投資損益» ・資源価格下落の影響 ・自動車関連事業 減益 ・前年同期 ミャンマー通信事業の決算期変更あり、 マダガスカル事業 減損損失あり 等 «有価証券損益/固定資産損益/その他の損益» ・当期 英国洋上風力発電事業 売却、 シグナス株主再編に係る一過性利益 等
売上総利益	6,854	6,579	△ 275	△4%	
販売費及び一般管理費 (内、貸倒引当金繰入額)	△4,772 (△26)	△ 4,923 (△30)	△ 151 (△4)	△3% (△17%)	
利息収支	△92	△ 120	△ 28	△31%	
受取配当金	111	95	△ 17	△15%	
持分法による投資損益	935	909	△ 26	△3%	
有価証券損益	94	155	+61	65%	
固定資産損益	30	△ 4	△ 33	-	
その他の損益	3	71	+68	-	
税引前利益	3,164	2,763	△ 401	△13%	
法人所得税費用	△631	△ 512	+119	19%	
四半期利益	2,533	2,250	△ 283	△11%	
四半期利益の帰属:					
親会社の所有者	2,418	2,113	△ 304	△ 13%	
非支配持分	115	137	+22	19%	
基礎収益	2,403	2,055	△ 348	△15%	
四半期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	2,119	1,761	△ 358	△17%	

	2018/12期	2019/12期	増減	増減率
期中平均rate (円/US\$)	111.14	108.65	△2.49	△2.2%

5. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：億円)	2018年度 第3四半期実績 (2018/4-12)	2019年度 第3四半期実績 (2019/4-12)	前年同期比	2019年度第3四半期実績の概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172	1,873	+700	«営業活動によるキャッシュ・フロー» ・コアビジネスが着実に資金を創出 ・J:COM、SMFL、ショップチャンネル等 持分法投資先からの配当 ・運転資金の増加 «投資活動によるキャッシュ・フロー» ・有形固定資産等の収支 米国オフィスビル、国内不動産取得及び売却 等 ・投資・有価証券等の収支 北欧駐車場事業会社 買収 SCSK ソフトウェア開発会社 子会社化 米国スクールサービスセンター事業買収 航空機エンジニアリング事業の共同事業化 英国洋上風力発電事業売却 アジア青果事業売却 等 ・貸付金の収支 グループファイナンスの貸付・回収 等
基礎収益キャッシュ・フロー*	2,297	2,056	△ 241	
(基礎収益)	(2,403)	(2,055)	(△348)	
(持分法による投資損益)	(△935)	(△909)	(+26)	
(持分法投資先からの配当)	(829)	(910)	(+81)	
減価償却費及び無形資産償却費*	839	1,197	+358	
その他(営業資産・負債の増減等)	△1,964	△ 1,381	+583	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△292	△ 1,774	△ 1,482	
有形固定資産等の収支	△784	△ 800	△ 16	
投資・有価証券等の収支	245	△ 932	△ 1,176	
貸付金の収支	247	△ 42	△ 290	
フリーキャッシュ・フロー	880	99	△ 781	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△911	△ 154	+756	

* セグメント情報

(単位：億円)	基礎収益キャッシュ・フロー			減価償却費及び無形資産償却費		
	2018年度第3四半期	2019年度第3四半期	前年同期比	2018年度第3四半期	2019年度第3四半期	前年同期比
金属	261	137	△ 124	84	88	+ 4
輸送機・建機	284	245	△ 39	274	318	+ 45
インフラ	354	347	△ 8	54	63	+ 10
メディア・デジタル	376	391	+ 15	79	131	+ 52
生活・不動産	233	244	+ 11	113	280	+ 168
資源・化学品	640	485	△ 155	156	170	+ 14
計	2,148	1,848	△ 300	759	1,052	+ 292
消去又は全社	150	209	+ 59	80	145	+ 66
連結	2,297	2,056	△ 241	839	1,197	+ 358

6. 要約四半期連結財政状態計算書の概要

(単位：億円)	2018年度末 実績 (2019/3末)	2019年度 第3四半期末実績 (2019/12末)	前期末比	2019年度第3四半期末実績の概要
資産	79,165	83,787	+4,622	«営業債権及びその他の債権（流動/非流動）» ・減少：会計基準（IAS28号）変更に伴う影響 期末取引集中の反動 等 «棚卸資産» ・増加：販売用不動産新規取得 会計基準（IFRS16号）変更に伴う影響 等 «有形固定資産 / 無形資産» ・増加：会計基準（IFRS16号）変更に伴う影響 等 «リース負債» ・増加：会計基準（IFRS16号）変更に伴う影響 等 «株主資本» ・利益剰余金 +659 (20,613→21,272) 内、会計基準変更（IAS28号/IFRS16号）に伴う影響 △533 ・在外営業活動体の換算差額 △249 (995→746)
流動資産	35,477	35,343	△ 133	
現金及び現金同等物	6,604	6,505	△ 99	
営業債権及びその他の債権	13,405	12,903	△ 501	
棚卸資産	9,252	10,106	+854	
売却目的保有資産	560	-	△ 560	
その他の流動資産	3,294	3,412	+118	
非流動資産	43,689	48,444	+4,755	
持分法で会計処理されている投資	21,305	21,443	+138	
営業債権及びその他の債権	3,714	3,682	△ 32	
有形固定資産 / 無形資産	10,064	14,004	+3,941	
負債（流動/非流動）	50,103	54,491	+4,387	
営業債務及びその他の債務	12,363	11,791	△ 572	
リース負債	684	4,823	+4,139	
売却目的保有資産に関わる負債	88	-	△ 88	
有利子負債（社債及び借入金） ※ 上段は引、下段は現預金引後	30,980 (24,271)	32,251 (25,645)	+1,271 (+1,374)	
資本	29,062	29,297	+235	
株主資本	27,715	27,894	+179	
株主資本比率	35.0%	33.3%	1.7pt悪化	
DER (Net)	0.9	0.9	±0.0pt	

為替レート(US\$)	2019/3末	2019/12末	増減	増減率
期末	110.99	109.56	△ 1.43	△1.3%

7. セグメント別業績概要 (1) (金属事業部門)

【主要指標】

(単位：億円)	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	319	152	200	380

(一過性損益) (0) (0)

売上総利益	1,109	873
販売費及び一般管理費	△ 742	△ 705
持分法による投資損益	78	52

総資産	12,452	12,090
	(19/3末)	

基礎収益CF	261	137
減価償却	84	88

<前年同期比 (△168億円) の主な増減要因>

- ・鋼材
海外スチールサービスセンター事業 減益
- ・非鉄
マレーシアアルミニウム製錬事業 アルミ市況軟調
- ・鋼管
北米鋼管事業 減益

<通期見通し>

- ・北米鋼管事業 低調
- ・海外スチールサービスセンター事業 低調

主な投融資・入替実績

【投融資 (3Q累計：200億円)】

- ・米国スチールサービスセンター事業の買収 (2019年6月)
- ・ノルウェーにおける石油ガス関連ベンチャーへの出資 (2019年7月)

【入替】

- ・住商特殊鋼の売却 (2019年8月)

【連結業績に与える影響が大きい会社】

会社名	持分損益 (単位：億円)				持分比率 (2019年12月末)	事業内容
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想		
住友商事グローバルメタルズグループ*	60	47	68	101	100.00 %	鋼材・非鉄金属製品の国内外取引及びその関連事業
マレーシアアルミニウム製錬事業会社	24	11	21	21	20.00 %	マレーシアにおけるアルミニウム製錬事業
ERYNGIUM	3	4	7	5	100.00 %	油井機器用金属部品の加工・販売を行うHOWCO groupの持株会社
EDGEN GROUP	19	△ 19	1	25	100.00 %	IILK-産業向け鋼管・鋼材のグローバルディストリビューター

* 2018年4月1日を効力発生日として、当社金属事業の一部を住友商事グローバルメタルズに継承しており、FY19も引き続き事業継承を予定しています。
また、住商メタレックスは2018年4月より住友商事グローバルメタルズの完全子会社となったため、FY18実績からは同社の業績も含まれます。

7. セグメント別業績概要 (2) (輸送機・建機事業部門)

【主要指標】

(単位：億円)	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	500	347	570	750

(一過性損益) (0) (0)

売上総利益	1,185	1,246
販売費及び一般管理費	△ 943	△ 1,064
持分法による投資損益	376	296

総資産	17,525	17,885
	(19/3末)	

基礎収益CF	284	245
減価償却	274	318

<前年同期比(△153億円)の主な増減要因>

- ・リース事業 堅調
- ・自動車製造事業 減益
- ・TBC 新リース会計導入に伴う費用増
- ・前期 インドネシア商業銀行(BTPN)売却

- ・前年同期 リース事業再編に伴う一過性利益あり(約+20億円)
- ・前年同期 TBC再編に伴う一過性損失あり(約△20億円)

<通期見通し>

- ・リース事業 堅調
- ・自動車製造事業 低調

主な投融資・入替実績

【投融資(3Q累計：700億円)】

- ・レンタル資産積み増し
- ・北欧駐車場事業会社 Q-Park(※)の買収(2019年4月) ※Aimo-Parkへ社名変更(2019年9月)
- ・自動車ブレーキ関連部品製造会社 浅間技研工業の買収(2019年9月)

【入替】

- ・航空機エンジンリース事業の共同事業化完了(2019年4月)

【連結業績に与える影響が大きい会社】

会社名	持分損益(単位：億円)				持分比率 (2019年12月末)	事業内容
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想		
三井住友ファイナンス&リース ^{*1,2}	201	250	321	369	50.00 %	総合リース
インドネシア自動車金融事業会社	34	39	55	55	-	インドネシアにおける自動車(二輪・四輪)ファイナンス事業
住友三井オートサービス ^{*3}	40	23	34	34	34.00 %	自動車及び自動車関連商品のリース事業
住友商事パワー&モビリティ ^{*1,4}	11	11	8	8	100.00 %	自動車・建機・機械・電機等の貿易取引
TBC ^{*5}	△ 2	△ 11	-	-	50.00 %	米国におけるタイヤ卸・小売事業

*1 他セグメントの持分を含めた全社合計の比率及び金額を表示しております。各社の当セグメント持分比率/全社持分割合は以下の通りです。

三井住友ファイナンス&リース：45/50、住友商事パワー&モビリティ：60/100

*2 リース事業再編に伴い、2018年12月より同社への出資比率を40%から50%に引き上げております。

*3 リース事業再編に伴い、2019年1月より同社への出資比率を46%から34%に引き下げしております。

*4 同社は2019年10月1日付で住商機電貿易から住友商事パワー&モビリティへ社名変更致しました。

*5 同社は2019年度業績予想の公表を差し控えていることから、当社持分損益についても同様としております。

7. セグメント別業績概要 (3) (インフラ事業部門)

【主要指標】

(単位：億円)	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	419	449	630	630

(一過性損益) (約+30) (約△10)

売上総利益	800	840
販売費及び一般管理費	△ 421	△ 435
持分法による投資損益	103	108

総資産	9,231	9,161
	(19/3末)	

基礎収益CF	354	347
減価償却	54	63

<前年同期比 (+30億円) の主な増減要因>

- ・発電所建設大型EPC*案件 建設進捗
- ・発電事業 堅調

- ・当期 電力分野における一過性損益 等 (約△10億円)
- ・前年同期 再生可能エネルギー分野における一過性利益 (約+30億円)

*EPC: Engineering, Procurement & Construction

<通期見通し>

- ・発電事業 堅調
- ・大型EPC案件 建設進捗
- ・4Qで再生可能エネルギー分野における一過性利益を見込む

主な投融資・入替実績

【投融資 (3Q累計：710億円)】

- ・アラブ首長国連邦シャルジャ首長国におけるガス焼き複合火力発電事業 (ハムリヤ) への参画 (2019年6月)
- ・ベトナムにおける石炭火力発電事業 (バンフォン1) への参画 (2019年8月)
- ・ハノイ市北部におけるスマートシティ開発事業への参画 (2019年12月)

【入替】

- ・英国における洋上風力発電事業 (レースバンク) の当社再生可能エネルギーファンドへの売却 (2019年4月)

【連結業績に与える影響が大きい会社】

会社名	持分損益 (単位：億円)				持分比率 (2019年12月末)	事業内容
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想		
海外IPP/IWPP事業* ¹	248	251	338	338	_* ²	海外における発電/発電造水事業
住商グローバル・ロジスティクス	18	17	25	25	100.00 %	総合物流サービス業

*1 海外IPP/IWPP事業全体における持分損益の合計。尚、従来開示しておりましたSUMMIT SOUTHERN CROSS POWER HOLDINGSの業績も含まれます。

*2 持分比率の異なる複数の事業会社であるため、記載しておりません。

7. セグメント別業績概要（4）（メディア・デジタル事業部門）

【主要指標】

(単位：億円)	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	346	285	460	460
(一過性損益)	(約+30)	(0)		
売上総利益	661	741		
販売費及び一般管理費	△ 510	△ 545		
持分法による投資損益	356	295		
総資産	8,132	8,497		
	(19/3末)			
基礎収益CF	376	391		
減価償却	79	131		

<前年同期比（△61億円）の主な増減要因>

- ・国内主要事業会社 堅調
- ・前年同期 ミャンマー通信事業の決算期変更あり
- ・前年同期 資産入替に伴う一過性利益あり

<通期見通し>

- ・国内主要事業会社 堅調

主な投融資・入替実績

【投融資（3Q累計：290億円）】

- ・SCSK 設備投資（データセンター、ソフトウェア等）
- ・テクノロジー企業へのベンチャー投資
- ・DX推進機能の拡充（技術専門会社・SCSKとのデジタルファンド設立）
- ・SCSK ソフトウェア開発会社 子会社化（2019年12月）

【連結業績に与える影響が大きい会社】

会社名	持分損益（単位：億円）				持分比率 (2019年12月末)	事業内容
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想		
ジュピターテレコム	254	243	324	324	50.00 %	ケーブルテレビ局及び番組供給会社の統括運営
SCSK	88	118	143	143	50.75 %	システム開発、ITインフラ構築、ITマネジメント、BPO、ITハードウェア販売
ジュピターショップチャンネル*	63	58	80	80	45.00 %	テレビ通販事業
ティーガイア	31	27	39	39	41.89 %	移動体通信回線・端末の販売及びギフトカード事業

* 他セグメントの持分を含めた全社合計の比率及び金額を表示しております。当セグメント持分比率/全社持分割合は30/45です。

7. セグメント別業績概要 (5) (生活・不動産事業部門)

【主要指標】

(単位：億円)	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	329	358	520	520

(一過性損益) (約+30) (約+70)

売上総利益	1,579	1,621
販売費及び一般管理費	△ 1,273	△ 1,295
持分法による投資損益	72	87

総資産	12,433	15,468
-----	--------	--------

(19/3末)

基礎収益CF	233	244
減価償却	113	280

【連結業績に与える影響が大きい会社】

会社名	持分損益 (単位：億円)				持分比率 (2019年12月末)	事業内容
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想		
サミット	45	45	50	50	100.00 %	スーパーマーケット
米国住宅事業会社	6	29	22	22	100.00 %	賃貸住宅事業への投資及び宅地造成事業
住商フーズ	20	19	26	26	100.00 %	食品・食材の開発・輸入・国内販売、加工
SUMIFRU SINGAPORE*	19	13	13	18	NA	生鮮青果物の生産・販売
住商リアルティ・マネジメント	8	12	16	16	100.00 %	不動産のアセット・マネジメント業務
トモズ	10	10	15	15	100.00 %	調剤併設型ドラッグストアチェーン
住商ビルマネージメント	16	10	11	11	100.00 %	オフィスビル等の運営・管理・企画コンサルティング
住商セメント	9	9	12	12	100.00 %	セメント・生コンクリート・コンクリート製品の販売
SUMMIT FORESTS NEW ZEALAND	12	6	14	14	100.00 %	森林資産の保有、ファイナンス、原木伐採、販売、植育林
FYFFES	△ 5	2	7	7	100.00 %	欧州並びに米州での青果物生産及び卸売業

* 同社は2019年7月に売却を完了していることから、持分比率についてはNAと表示しております。

<前年同期比(+29億円)の主な増減要因>

- ・国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調
- ・当期 その他一過性利益 (約+70億円)
- ・前年同期 資産入替等に伴う一過性利益あり (約+30億円)

<通期見通し>

- ・国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調

主な投融資・入替実績

【投融資 (3Q累計：660億円)】

- ・国内不動産案件 取得
- ・インド マンション開発事業 追加投資 (2019年5月)
- ・サミット 新規出店・店舗改装等
- ・国内調剤薬局買収
- ・米国オフィスビル取得 (2019年12月)
- ・SOSiLA物流リート投資法人への追加出資 (2019年12月)

【入替】

- ・国内不動産案件 売却
- ・SUMIFRU SINGAPORE 売却 (2019年7月)
- ・米国オフィスビル売却 (2019年11月)
- ・SOSiLA物流リート投資法人への国内不動産案件 売却 (2019年12月)

7. セグメント別業績概要 (6) (資源・化学品事業部門)

【主要指標】

(単位：億円)	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	460	469	620	660
(一過性損益)	(約△150)	(約+100)		
売上総利益	1,442	1,181		
販売費及び一般管理費	△ 713	△ 756		
持分法による投資損益	△ 81	45		
総資産	17,010	16,564		
	(19/3末)			
基礎収益CF	640	485		
減価償却	156	170		

<前年同期比(+9億円)の主な増減要因>

・資源・エネルギー
 ポリビア銀・亜鉛・鉛事業 市況価格下落及び販売数量減
 豪州石炭事業 市況価格下落

・化学品・エレクトロニクス
 化学品・半導体ビジネス 市況悪化

- ・当期 ジクシス株主再編に係る一過性利益 (約+70億円)
- ・当期 マダガスカルニッケル事業 未還付VATに係る引当金取崩し益 (約+30億円)
- ・当期 チリ銅・モリブデン鉱山における過年度減損に係る税効果 (約+30億円)
- ・当期 マレーシアマンガン系合金鉄製造販売事業における減損損失 (約△40億円)
- ・当期 資源・エネルギー分野における一過性損益あり (約+20億円)
- ・前年同期 マダガスカルニッケル事業の減損損失等あり (約△150億円)
- ・前年同期 資源・エネルギー分野における一過性損益あり

<通期見通し>

- ・資源価格は通期見通しに対して低調に推移
- ・資源・エネルギー トレードビジネス 堅調

主な投融資・入替実績

【投融資(3Q累計：310億円)】

- ・インド・マヒンドラグループの農薬輸入販売事業への参画 (2019年4月)
- ・チリ銅事業ケブラダ・ブランカ 開発進捗

その他トピックス

- ・豪州石炭事業 クレアモント権益買い増し

7. セグメント別業績概要 (6) (資源・化学品事業部門)

【連結業績に与える影響が大きい会社】

会社名	持分損益 (単位: 億円)			
	FY18 3Q累計	FY19 3Q累計	見通し (19/11時点)	(参考) 期初予想
豪州石炭事業会社	157	93	100	162
ORESTEEL INVESTMENTS	82	81	180	181
PACIFIC SUMMIT ENERGY	52	74	29	29
ボリビア銀・亜鉛・鉛事業会社	162	58	70	93
スミロニクスグループ	28	34	41	41
ブラジル鉄鉱石事業会社	18	32	42	25
住友商事ケミカル	27	23	34	36
矽銅・モリブデン鉱山事業会社	△ 24	22	△ 12	△ 9
SC MINERALS AMERICA	39	17	31	41
エルエヌジージャパン	10	17	36	33
SMM CERRO VERDE NETHERLANDS	1	13	24	33
北海油田事業権益保有会社	21	12	10	10
SUMMIT RURAL WA	6	7	10	8
SUMI AGRO EUROPE	4	6	20	19
米国タイトオイル・シェールガス事業会社	8	△ 2	0	△ 4
マダガスカルニッケル事業会社	△ 315	△ 135	△ 168	△ 174

持分比率 (2019年12月末)	事業内容
- *	豪州における石炭事業への投資
49.00 %	南アフリカにおける鉄鋼原料資源会社への投資
100.00 %	米国における天然ガス・電力のトレーディング及びマーケティング、並びにLNG輸出事業
100.00 %	ボリビア銀・亜鉛・鉛鉱山操業会社及び精鉱販売会社への投資
- *	EMS事業 (電子機器の受託生産サービス) 及び電子材料の貿易取引
30.00 %	ブラジルにおける鉄鉱石事業
100.00 %	合成樹脂・化成品の国内・貿易取引
13.50 %	矽Sierra Gorda銅鉱山における鉱山プロジェクト外運営会社への投融資
100.00 %	米国・モリブデン銅鉱山、矽・カンガリア銅鉱山への出資
50.00 %	LNG (液化天然ガス) 事業及び関連投融資
20.00 %	ベルギー銅鉱山への投資
- *	英領・ルウェー領北海における石油・天然ガスの開発・生産・販売
100.00 %	西豪州における肥料輸入販売
100.00 %	欧州における農業資材販売会社への出資
100.00 %	米国における石油・天然ガスの探鉱・開発・生産
47.67 %	マダガスカルAmbatovyニッケル鉱山開発プロジェクトへの投資

* 持分比率の異なる複数の事業会社であるため、記載していません。

【個別事業の状況 アンバトビー ニッケルプロジェクト】

【2019年度第3四半期実績】

- 2019年度第3四半期は135億円の赤字

＜2019年4 – 12月実績＞

ニッケル価格 : \$6.55/lb

ニッケル生産量 : 26,100トン



【2019年度業績見通し】

- 2019年度通期見通しは約210億円の赤字 <従来見通し : 168億円の赤字>

- ✓ ニッケル価格及び生産量見通しの下方修正により赤字拡大

＜2019年度通期見通し＞

ニッケル価格 : \$6.46/lb (従来見通し : \$7.05/lb)

ニッケル生産量 : 37,000トン (従来見通し : 40,000トン)

- 2019年11月に実施した定期メンテナンス後の立ち上げにやや時間を要したことから、今年度生産見通しは下方修正
- 足元操業は改善傾向にあり、早期に年間50,000トンを安定生産できる体制を目指す

資源権益持分生産量及びセンシティブティ

		FY18 実績		FY19 実績				FY19 見通し		[参考] FY19 見通し 通期 (11月時点)	センシティブティ (年間ベース、 価格ヘッジ考慮前、 2月時点)
		1-3Q	通期	1Q	2Q	3Q	1-3Q	4Q	通期 (2月時点)		
原料炭	持分出荷量〔百万MT〕	1.0	1.3	0.4	0.4	0.4	1.2	0.3	1.5	1.3	0.8億円 (US\$1/MT)
	価格〔US\$/MT〕	203	204	204	164	141	170	147	164	169	
一般炭	持分出荷量〔百万MT〕	3.7	4.7	1.2	1.4	1.7	4.3	1.7	6.0	6.3	4.1億円 (US\$1/MT)
	価格〔US\$/MT〕	109	106	80	68	67	72	72	72	69	
鉄鉱石*	持分出荷量〔百万MT〕	2.9	5.0	0.5	2.3	0.7	3.5	2.1	5.6	6.0	4.3億円 (US\$1/MT)
	価格〔US\$/MT〕	69	69	83	100	102	95	89	93	92	
マンガン鉱石*	持分出荷量〔百万MT〕	0.3	0.6	-	0.3	-	0.3	0.3	0.6	0.6	0.5億円 (US\$1/MT)
	価格〔US\$/MT〕	320	318	286	271	246	268	180	246	265	
銅	持分生産量〔万MT〕	4.0	5.4	1.4	1.4	1.5	4.3	1.4	5.7	5.7	4.1億円 (US\$100/MT)
	価格〔US\$/MT〕	6,645	6,526	6,220	6,114	5,798	6,044	5,902	6,009	6,107	

* ORESTEEL INVESTMENTSの鉄鉱石、マンガンの持分出荷量は、2Q、4Qのみに含まれております。

7. セグメント別業績概要 (6) (資源・化学品事業部門)

資源権益持分生産量及びセンシティブティ

		FY18 実績		FY19 実績				FY19 見通し		[参考] FY19 見通し 通期 (11月時点)	センシティブティ (年間ベース、 価格ヘッジ考慮前、 2月時点)
		1-3Q	通期	1Q	2Q	3Q	1-3Q	4Q	通期 (2月時点)		
銀	持分生産量(百万toz)	8.3	10.6	3.5	1.7	2.3	7.4	2.7	10.1	10.0	5.2億円 (US\$1/toz)
	価格(US\$/toz)	15.4	15.4	14.9	17.0	17.3	16.4	16.9	16.5	15.7	
亜鉛	持分生産量(千MT)	155	207	55	42	57	155	47	202	197	10.6億円 (US\$100/MT)
	価格(US\$/MT)	2,760	2,746	2,762	2,345	2,388	2,498	2,324	2,455	2,692	
鉛	持分生産量(千MT)	55	68	17	10	11	38	9	47	43	2.4億円 (US\$100/MT)
	価格(US\$/MT)	2,152	2,123	1,884	2,029	2,045	1,986	1,897	1,964	1,969	
ニッケル	持分生産量(千MT)	13.2	16.8	4.1	4.3	4.0	12.4	5.1	17.6	19.1	51億円 (US\$1/lb)
	価格(US\$/lb)	5.94	5.85	5.56	7.08	7.00	6.55	6.18	6.46	7.05	
原油・ガス (北海権益)	持分生産量(百万boe)	1.8	2.4	0.6	0.4	0.4	1.4	0.6	2.1	2.0	0.4億円 (US\$1/bbl)
	価格(US\$/bbl,北海Brent)	72	72	64	68	62	65	62	64	65	
LNG	持分生産量(万t)	27	34	8	9	9	26	7	33	33	-

8. セグメント情報（補足：生活・不動産事業部門）

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計	2019年度 第3四半期累計	前年同期比
生活・不動産事業部門			
売上総利益	1,579	1,621	+42
ライフスタイル・リテイル事業本部	889	923	+34
食料事業本部	303	281	△ 22
生活資材・不動産本部	391	420	+28
持分法による投資損益	72	87	+14
ライフスタイル・リテイル事業本部	10	12	+2
食料事業本部	31	28	△ 2
生活資材・不動産本部	32	46	+14
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	329	358	+29
ライフスタイル・リテイル事業本部	62	48	△ 14
食料事業本部	25	72	+47
生活資材・不動産本部	242	239	△ 3
資産合計	2019年3月末 12,433	2019年12月末 15,468	+3,035
ライフスタイル・リテイル事業本部	2,111	3,835	+1,724
食料事業本部	3,202	3,366	+164
生活資材・不動産本部	7,126	8,273	+1,147

8. セグメント情報（補足：資源・化学品事業部門）

(単位：億円)

	2018年度 第3四半期累計	2019年度 第3四半期累計	前年同期比
資源・化学品事業部門			
売上総利益	1,442	1,181	△ 260
資源・エネルギー ^{*1}	854	578	△ 276
化学品・エレクトロニクス ^{*2}	588	603	+15
持分法による投資損益	△ 81	45	+126
資源・エネルギー ^{*1}	△ 116	12	+128
化学品・エレクトロニクス ^{*2}	35	32	△ 2
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	460	469	+9
資源・エネルギー ^{*1}	315	331	+16
化学品・エレクトロニクス ^{*2}	143	136	△ 7
資産合計	2019年3月末 17,010	2019年12月末 16,564	△ 446
資源・エネルギー ^{*1}	12,060	11,548	△ 512
化学品・エレクトロニクス ^{*2}	4,939	5,002	+63

*1 資源・エネルギーは「資源第一本部」「資源第二本部」「エネルギー本部」の合計です。

*2 化学品・エレクトロニクスは「基礎化学品・エレクトロニクス本部」「ライフサイエンス本部」の合計です。

9. セグメント別 当期利益/一過性損益 四半期推移 (2019年度)

【当期利益】

(単位：億円)	2019年度実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
金属	64	47	40		152
輸送機・建機	117	98	132		347
インフラ	204	195	51		449
メディア・デジタル	88	100	97		285
生活・不動産	115	146	97		358
資源・化学品	209	123	137		469
合計	796	709	555		2,060
消去又は全社	2	18	34		54
連結	797	727	589		2,113

【一過性損益 (3Q累計実績) の主な内容】

- インフラ
 - ・電力分野における一過性損益 等 (約△10)
- 生活・不動産
 - ・その他一過性利益 (約+70)
- 資源・化学品
 - ・ジクシス株主再編に係る一過性利益 (約+70)
 - ・マダガスカルニッケル事業 未還付VATに係る引当金取崩益 (約+30)
 - ・チリ銅・モリブデン鉱山事業における過年度減損に係る税効果 (約+30)
 - ・マレーシアマンガン系合金鉄製造販売事業における減損損失 (約△40)
 - ・資源・エネルギー分野における一過性損益 等 (約+20)

【一過性損益】

(単位：億円)	2019年度実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
金属	0	0	0		0
輸送機・建機	0	0	0		0
インフラ	60	20	△ 90		△ 10
メディア・デジタル	0	0	0		0
生活・不動産	△ 10	80	0		70
資源・化学品	100	△ 20	30		100
合計	140	90	△ 70		160
消去又は全社	0	0	0		0
連結	140	90	△ 70		160

※一過性損益は、一億の位を四捨五入して表示しております。

9. セグメント別 当期利益/一過性損益 四半期推移 (2018年度)

【当期利益】

(単位：億円)	2018年度実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
金属	101	108	110	86	405
輸送機・建機	152	174	173	20	520
インフラ	115	116	188	225	644
メディア・デジタル	118	127	101	129	475
生活・不動産	116	143	70	92	421
資源・化学品	264	200	△ 4	225	685
合計	866	868	639	778	3,148
消去又は全社	48	11	△ 14	12	57
連結	914	880	625	787	3,205

【一過性損益】

(単位：億円)	2018年度実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
金属	0	0	0	0	0
輸送機・建機	△ 10	△ 10	20	△ 80	△ 90
インフラ	0	0	30	△ 10	20
メディア・デジタル	0	30	0	0	30
生活・不動産	0	10	20	△ 20	10
資源・化学品	30	10	△ 190	20	△ 130
合計	20	50	△ 130	△ 100	△ 160
消去又は全社	0	0	0	80	80
連結	20	50	△ 130	△ 20	△ 80

※一過性損益は、一億の位を四捨五入して表示しております。

【一過性損益 (年間実績) の主な内容】

輸送機・建機	・インドネシア商業銀行 (BTPN) 売却に伴う 一過性損失 (約△100) ・TBC 再編に伴う一過性損失 (約△20) ・リース事業再編に伴う一過性利益 (約+70) ・その他一過性損失 等
インフラ	・再生可能エネルギー分野における一過性利益 (約+30) ・その他一過性損失 等
メディア・デジタル	・資産入替に伴う一過性利益 等
生活・不動産	・資産入替等に伴う一過性利益 ・FYFFES 減損損失 (約△20) 等
資源・化学品	・マダガスカルニッケル事業 減損損失等 (約△150) ・資源・エネルギー分野における一過性損益 等
消去又は全社	・一過性の税効果 等

10. 業績推移 (1) (PL、キャッシュ・フロー)

(単位：億円)

(中期経営計画) (会計年度)	FOCUS'10		f(x)		BBBO2014		BBBO2017			中期経営計画 2020
	2009*	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
収益	28,842	31,002	32,610	30,162	33,174	37,622	40,108	39,970	48,273	53,392
売上総利益	7,795	8,640	9,188	8,270	8,944	9,529	8,941	8,427	9,565	9,232
販売費及び一般管理費	△ 6,392	△ 6,607	△ 6,864	△ 6,571	△ 7,064	△ 7,552	△ 7,627	△ 6,938	△ 7,316	△ 6,476
利息収支	△ 241	△ 181	△ 151	△ 158	△ 174	△ 130	△ 26	△ 17	△ 58	△ 116
受取配当金	113	100	112	134	149	172	106	94	107	121
持分法による投資損益	761	956	1,106	1,074	1,262	491	△ 538	835	1,497	1,271
有価証券損益	329	95	148	515	88	124	722	129	278	22
固定資産損益	50	△ 176	△ 90	△ 58	△ 198	△ 2,692	△ 334	△ 197	△ 44	△ 40
その他の損益	15	△ 22	△ 36	△ 16	35	△ 130	158	△ 201	94	25
税引前利益(又は損失)	2,233	2,805	3,414	3,190	3,042	△ 186	1,401	2,131	4,123	4,040
法人所得税費用	△ 618	△ 707	△ 777	△ 753	△ 704	△ 523	△ 515	△ 259	△ 784	△ 662
当期利益(又は損失)	1,615	2,098	2,637	2,437	2,339	△ 708	886	1,872	3,339	3,378
当期利益(又は損失)の帰属：										
親会社の所有者	1,552	2,002	2,507	2,325	2,231	△ 732	745	1,709	3,085	3,205
非支配持分	63	96	130	112	108	24	140	163	254	173
基礎収益	1,514	2,205	2,515	2,165	2,450	1,840	465	1,931	3,087	3,207

(単位：億円)

(会計年度)	2009*	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,104	2,195	1,904	2,803	2,782	2,437	5,997	3,458	2,953	2,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 594	△ 4,694	△ 357	△ 1,862	△ 2,499	△ 3,996	△ 854	△ 1,807	△ 1,558	△ 513
フリーキャッシュ・フロー	4,510	△ 2,499	1,547	941	284	△ 1,559	5,143	1,651	1,395	2,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,501	1,559	△ 333	△ 247	1,459	△ 748	△ 5,072	△ 2,544	△ 2,296	△ 2,332

* 当社は2009年度までを米国会計基準、2010年度より国際会計基準(IFRS)に基づく連結財務諸表を作成しております。

米国会計基準による用語では、「持分法による投資損益」は「持分法損益」、「法人所得税費用」は「法人税等」、「当期利益(親会社の所有者に帰属)」は「当期純利益(住友商事(株)に帰属)」、「親会社の所有者に帰属する持分」は「株主資本」、「親会社所有者帰属持分比率」は「株主資本比率」となります。

10. 業績推移 (2) (BS、主要経営指標)

(単位: 億円)

(中期経営計画) (会計年度)	FOCUS'10		f(x)		BBBO2014		BBBO2017			中期経営計画 2020
	2009 ^{*1}	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
資産合計	71,378	72,305	72,268	78,328	86,687	90,214	78,178	77,618	77,706	79,165
親会社の所有者に帰属する持分	15,837	15,705	16,891	20,528	24,047	24,814	22,515	23,665	25,582	27,715
有利子負債 (グロス)	36,007	37,674	36,138	38,614	42,389	44,213	36,509	34,183	32,039	30,980 ^{*2}
有利子負債 (ネット)	27,818	30,563	27,867	29,303	31,235	35,175	27,703	26,279	25,215	24,271
リスクアセット[RA]	13,800	15,000	15,300	18,100	21,900	23,800	22,000	22,400	23,600	22,900
コア・リスクバッファー[RB]	15,700	16,600	16,400	19,500	22,700	23,200	21,400	22,200	23,900	26,400
バランス (RB-RA)	1,900	1,600	1,100	1,400	800	△ 600	△ 600	△ 200	300	3,500
親会社所有者帰属持分比率 (%)	22.2	21.7	23.4	26.2	27.7	27.5	28.8	30.5	32.9	35.0
ROE (%)	10.6	12.9	15.4	12.4	10.0	△ 3.0	3.2	7.4	12.5	12.0
ROA (%)	2.2	2.8	3.5	3.1	2.7	△ 0.8	0.9	2.2	4.0	4.1
Debt-Equity Ratio (ネット) (倍)	1.8	1.9	1.6	1.4	1.3	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9

(単位: 円)

(会計年度)	2009 ^{*1}	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
当社株価										
終値	1,075	1,189	1,196	1,178	1,313	1,286.0	1,118.5	1,497.5	1,791.0	1,531.0
最高値	1,113	1,297	1,284	1,276	1,616	1,420.0	1,513.0	1,547.0	2,043.5	1,999.5
最安値	811	874	875	984	1,101	1,054.0	983.5	975.5	1,398.0	1,460.0
日経平均終値	11,089.94	9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99	16,758.67	18,909.26	21,454.30	21,205.81
発行済株式総数 (千株)	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,788
基本的1株当たり当期利益 (親会社の所有者に帰属)	124.15	160.17	200.52	185.92	178.59	△ 58.64	59.73	136.91	247.13	256.68

*1 当社は2009年度までを米国会計基準、2010年度より国際会計基準(IFRS)に基づく連結財務諸表を作成しております。

米国会計基準による用語では、「持分法による投資損益」は「持分法損益」、「法人所得税費用」は「法人税等」、「当期利益 (親会社の所有者に帰属)」は「当期純利益 (住友商事 (株) に帰属)」、「親会社の所有者に帰属する持分」は「株主資本」、「親会社所有者帰属持分比率」は「株主資本比率」となります。

*2 自動車販売金融・建機レンタル関連事業会社の有利子負債 621億円
プロジェクト・ファイナンス (ノンコース型) の有利子負債 1,103億円